

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った組織検体を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている組織検体を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

頭蓋内病変の術中迅速細胞診の診断有用性の解析

【研究機関】 愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 増本純也（愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門 教授）

【研究の目的】

頭蓋内に発生する腫瘍は、凍結切片による術中迅速病理診断が初回の病理学的診断で、かつそれによって治療方針が決定されることが多い疾患です。一方、迅速組織診断では凍結切片作成時の氷の結晶による組織の挫滅などの意図せぬ修飾が生じやすく診断は必ずしも簡単ではありません。本研究では迅速組織検体に迅速細胞検体の情報を加えて、正診率が向上するかを評価することといたしました。その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2019年1月から2023年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち脳神経外科にて頭蓋内腫瘍の組織型診断のために手術を受けられ、迅速診断組織から術中迅速細胞診を行った方を対象とします。組織診断は通常の方法で行われ、細胞検体は組織診断の余剰検体から作成されています。

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、画像検査デー

タ、治療状況 等

(利用する試料) 通常の診断で使用した後に残った試料 (組織検体と細胞検体)

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門 増本純也

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門
791-0295 愛媛県東温市志津川454
Tel: 089-960-5977